

BRIDGE

ブリッジ

令和5年度版

福井県
あわら市

～あなたとあわらをつなぐ移住ガイドブック～



あわら市って、 こんなところ。

北潟湖エリア

真っ赤な斜張橋“アイリスブリッジ”が架かる北潟湖や風車など、雄大な景色が広がり、自然を満喫できます。



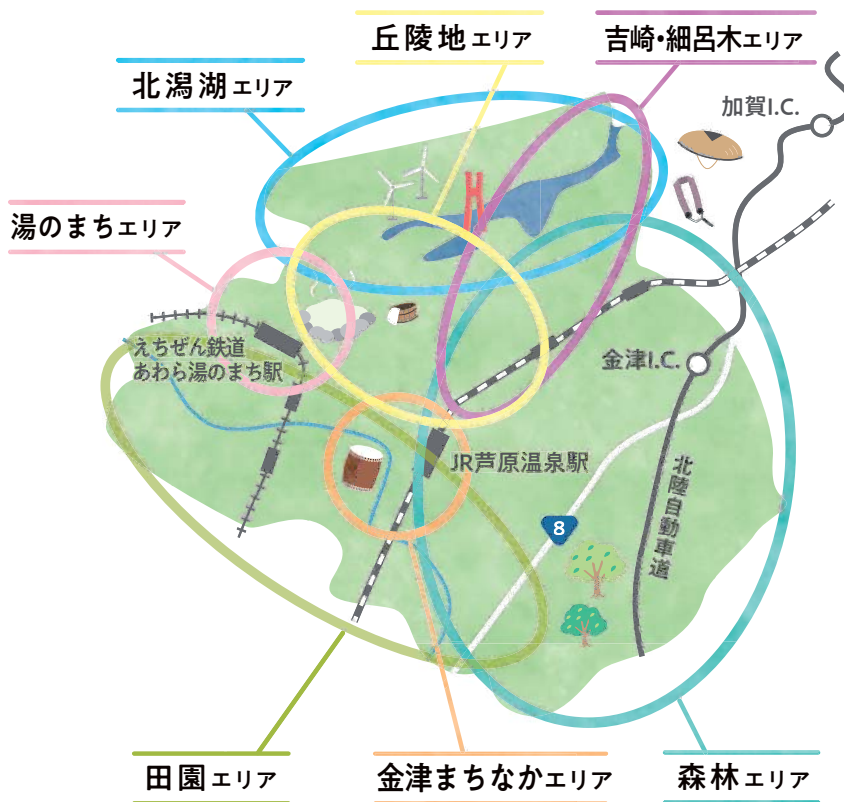
湯のまちエリア

「関西の奥座敷」とも呼ばれるあわら温泉。旅館ごとに泉質や効能が異なり、温泉巡りを楽しめます。



田園エリア

広大な田園風景が広がっており、地平線に沈む夕日は絶景です。特産品「越のルビー」の名産地でもあります。



吉崎・細呂木エリア

浄土真宗中興の祖・蓮如上人が北陸での布教の拠点とした“吉崎御坊”を中心に、あわらの歴史を迎えます。



丘陵地エリア

なだらかな北部丘陵地には広域農道「フルーツライン」を中心に果樹園が広がり、収穫体験などが楽しめます。



森林エリア

緑に囲まれたアートスペース“金津創作の森”をはじめ、豊かな森林や美しい眺望に恵まれています。



金津まちなかエリア

JR芦原温泉駅がある金津地区は、かつて北陸街道の宿場町として栄えた歴史あるまちで、おもてなし文化が根強く残っています。



あわらの 主なイベント

春夏編



- 23日～5月2日 / 蓮如忌
- 29日 / あわら温泉春まつり



- トリムマラソン
- 森のアートフェスタ



- あわら北潟湖畔花菖蒲まつり
- 全国競技かるた女流選手権大会



- 金津祭
- 北潟祭



- 8日～9日 / あわら湯かけまつり
- あわらカップカーヌーボロ大会

あわらの 主なイベント

秋冬編



- あわら観月の夕べ



- クラフトマーケット



- 23日 / 鵜岳かりんて祭



- あわら灯源郷



- 2日 / 芦原芸妓新春舞踊



先輩移住者座談会

「あわらライフの気になること」

おいしい食べものやゆったりとくつろげる温泉、身近にある豊かな自然が、さりげない贅沢となって日常を潤すまち。「あわらで暮らしてみたい!」と感じたみなさんのために、生活する上で気になる疑問にお答えします。

Interview



① 飯嶋 昭太さん

大阪府出身。金津創作の森ガラス工房スタッフとして2020年移住。創作の森作家でもある山野宏氏が教授を務める大阪芸術大学工芸学科ガラス工芸コース卒業。大阪で作家の手伝いや、飲食店店長などを経て、山野氏に誘われ、あわら市へ、空き家を借りて住んでいる。

② 長縄 宣さん

愛知県出身。金津創作の森美術館の学芸員として2020年移住。石川県の大学に進学し、石川・富山・新潟に居住歴があり、北陸歴は長い。新潟での仕事で千葉さんと知り合い、その縁であわら市へ。家族は富山に住んでおり、現在は単身赴任中。

③ 西川 宏太さん

大阪府出身。金津創作の森ガラス工房スタッフとして2016年移住。飯嶋さんと同じ大阪芸術大学工芸学科ガラス工芸コース卒業。大阪芸術大学の助手などを経て、山野氏に誘われ、あわら市へ。空き家を借りて住んでいる。

④ 千葉 由美さん

岩手県出身。金津創作の森美術館の学芸員として2019年に移住。大学卒業後は地元の博物館の事務をしていたが、学芸員を目指して、長縄さんが主任キュレーターをしていた新潟の芸術祭スタッフとなり、その後あわら市へ。

気候について



一令和3年1月に大雪がありました。みなさんどうでしたか?

飯嶋 私より前にこっちに住んでいた後輩の西川にそんなに降らないと聞いていたので、初めての冬にいきなり大雪で、話が違うじゃないか!と思いました(笑)雪は好きだけど雪かきは苦手です。

長縄 幹線道路は早い段階で除雪されていましたが、住宅街の中まで手が届いていなかった時、近所の人たちがみんなリュックをかついでスーパーへ歩いて行った姿は、災害のように驚きました。

千葉 岩手の雪はサラサラしていますが、こっちの雪はずっしりと重かったのが印象的でした。

西川 住み始めて5年になりますが、大雪の年もあったり、まったく積もらない年もあったり、気候のことはよくわかりません(笑)

千葉 女性としては、湿度が高いのでお肌によくて嬉しいです。でも洗濯物は乾かない(笑)

長縄 だから、このあたりのアパートはだいたいサニールーム(物干し用の部屋)がありますね。今住んでいるところに

もあります。

一冬の日本海側の特徴で、雲に覆われている日が多いですが、太平洋側出身のみなさんはどう思われて過ごしていますか?

千葉 確かにこっちは青空がなかなか見れないけど、その分晴れ間が見えた時の喜びは大きいです。

長縄 こっちの冬はなかなか外へ行けないからこそ、家にもって何か集中したい時はもってこいですね。

交通について



一みなさん自家用車をお持ちですか?

全員 はい!必須です!

飯嶋 大阪に住んでいる時は、カーシェアなどを利用していましたが、こっちに住むことになって買いました。

千葉 今ではどこへ行くにも車です。

長縄 北陸あちこちに住んできましたが、北陸地方はどこに住んでも自家用車は必要ですね。

西川 車に乗っていると、10分も30分もそんなに変わらない

いので、市の端っこに住んでいますが、日常生活で不便はありません。

長縄 高速のインターが近いので家族が住んでいる富山まで行きやすくてありがたいです。

買い物や外食について



一日常の買い物や休日のショッピングはどうしていますか?

長縄 市内のスーパーやドラッグストアでほしいものを買います。店によって使い分けてハシゴして買い物することもあります。

西川 石川県寄りに住んでいて、加賀市のスーパーへも同じくらいの時間でいけるので、市内も加賀市もどちらにも行きます。

千葉 金沢に行きやすいのが嬉しいです。電車や車でよく行きますよ。

飯嶋 もともと通販で何でも買うので、買い物で困ったことはありません。

一外食はどうしていますか?

西川 市内ではラーメンの「福の神」や焼き鳥の「秋吉」に行ったりします。市外の店にもすぐ行けるので、いろいろ行きます。

長縄 焼肉の「なかや」が美味しい!

一同 (同感して)美味しい!

千葉 お酒が好きなので、温泉街の「湯けむり横丁」がお気に入りです。温泉街はいろんなお店が集まっているのでいいですね。

飯嶋 お酒好きとしては、車社会だと帰りの足を気にしないとイケないのが残念です。

地域交流について



一飯嶋さんと西川さんは空き家を借りて一軒家に住んでいるようですが、地域との交流はしていますか?

飯嶋 地域清掃などにはなるべく参加するようにしています。ただ、仕事が土日関係ないので、行けないことも多いですが、みなさん優しいので理解してくれています。

西川 同感です。最初は頑張って参加するようにしていましたが、仕方ないから無理しなくていいよと言ってくれるので、ありがたいです。

飯嶋 引っ越したのがコロナ禍の緊急事態宣言中で、タイミングが悪くて心配しましたが、しばらくしてあった清掃活動で「はじめまして」と挨拶できました。みなさん本当に優しくして問題なく地域に入れて

良かったです。

西川 お野菜とかよくいただきます。ありがたいです(笑)

あわら市に住んでよかったこと

一最後にあわら市に住んでよかったことや、おすすめの過ごし方を教えてください。

長縄 酒が美味しい!

西川 食べ物は何でも美味しいですね。米も野菜も魚も美味しい。

長縄 フルーツの種類がたくさんあって驚きました。さららの丘に行くというんなものがあるのがあって楽しめるので、よく行きます。

飯嶋 スキーをするので、スキー場が近くて嬉しいですね。大阪に住んでいた時は泊まり込みで行ってましたから。

千葉 その日の気分によって、海へ行きたいなとか山へ行きたいなといういろいろ行けていいですね。川もありますし。自然に恵まれています。北潟湖も好きなのでよく行きます。おすすめです!

長縄 あわら市は、釣りをする人には、浜もあり、湖もあり、三国の方へ行けば岩場もあり、川釣りもできるし、すごくいいと思います。あとサーファーには波松海岸の波はすごくいいらしくて、波が高い日はたくさんの方がいます。あとサイクリストにもすごくいい!ほどよい坂があるので、走っていて気持ちいいですね。アウトドア派には穴場がいろいろあっておすすめです。

千葉 フルーツラインからの景色は車で走っているとなんとも言えない気持ちよさです。特に夕日の時間とか最高!

西川 特別ここがというわけではないけど、まち全体の雰囲気が好きです。ほどよく田舎で、建物が低くて、空が広くて。自然が多いこの環境はとても気に入っています。

(取材日:令和3年2月17日)

金津創作の森美術館



森に囲まれたアートスペース。美術館をはじめ、広大な森にはたくさんのアート作品、ものづくりの作家さんが住んでいます。手軽に楽しめる創作体験やレストランでのランチも楽しめます。

① 年間平均気温は14.8℃。福井県最北端ですが海に面しているため、比較的温暖で雪も積もりにくい傾向があります。それでも近年は大雪の年もあり、雪への備えは必須です。

② 北陸自動車道金津ICがあり、金沢西ICまでは約30分でいけます。

③ 市内にはスーパー4ヶ所、ドラッグストア6ヶ所、ホームセンター2ヶ所あります。

④ 市役所近くにある、行列のできるラーメン屋さん。まぜそばが絶品です。

⑤ JR芦原温泉駅近くにある地元で人気の焼き肉店。ランチにもおすすめです。

⑥ あわら温泉にある屋台村。パリエーション豊富で個性豊かな屋台が並びます。



⑦ 新鮮な野菜とフルーツが揃う農家直売所。スイカの模様屋根が目印です。



⑧ 福井県最大の園芸産地でもある北部丘陵地を、北陸自動車道金津ICから坂本市三国町まで横断する広域農道。



U・Iターン支援

県外から移り住んだ方への支援制度も充実しています。

働きながらの移住に 市の支援制度を活用。

東京のIT企業に勤務し、定年後は生まれ育ったあわら市に戻るつもりだった長谷部さん。コロナ禍でテレワークが定着したことにより、福井県での定年後再雇用が決定し2021年に、県外の大学へ通う長女を残し、妻のしのぶさんと中学1年生の次女とともにUターンしました。

Uターン前から、市の担当課に色々相談をしたところ、新たに追加されたテレワークに伴う移住の要件に該当することが分かり、「移住就職等支援金」の支援を受けることになりました。

しのぶさんはあわらの自然や食を満喫しながら、郵便局の風景印(消印)集めをスタート。実は福井県は風景印を有する郵便局の割合が全国トップレベル。新たな楽しみが増えました。今後あわらに移住する方に対して、早めに市役所へ相談すること、運転免許と車は必須とアドバイスしてくれました。



[移住年]…2021年 | FROM 東京都 ▶ TO あわら市 | 長谷部 桂一さん Hasebe Keiichi
[家族構成]…本人、妻、子ども、母

U・Iターン支援制度

移住就職等支援金

東京23区(在住者または通勤者)からあわら市へ移住し、5年以上継続して居住する意思があり、都道府県が選定した中小企業等の求人に応募し就業した方、専門人材として就業した方、テレワークで就業継続する方、関係人口として本市が認めた方、または起業した方(県起業支援金受給者)を対象に、移住就職等支援金を支給します。

単身での移住者 **60万円**

2人以上の世帯での移住者 **100万円**
※18歳未満の子ども1人につき、100万円加算



移住促進支援金

県外からあわら市へ移住する若者世帯および子育て世帯に対して移住にかかる費用を支援します。



交付対象	世帯構成	支援金額
若者単身者	移住日において40歳未満であり、市内企業に正規雇用で就職または新規創業する単身で移住する人	10万円 /人
若者世帯	移住者全員が移住日において45歳未満である世帯	15万円 /世帯
子育て世帯	移住日において、18歳以下の移住者を含む世帯	30万円 /世帯



若者結婚支援

若い世代の幸せな結婚と新婚生活を支援しています。

市の支援制度を活用し 子育て・新生活を満喫。

坂井市からあわら市内の会社へ通勤していた佐藤さん。結婚後、住まい探しをする中で勤め先に近く、何かあった際にすぐ帰れるあわら市への移住を決め、住居を購入しました。その後、あわら市が若い世代の暮らしを応援していることを知り、市役所へ話を聞きに行ったところ、「結婚新生活支援事業補助金」と「U25夫婦支援金」の対象となることが分かりました。市役所での相談は親切で、話も聞きやすかったそうです。

「実際に暮らしてみても、家とスーパー、公園などの距離が近くて便利。落ち着いて暮らせませす。夫婦であわら市での暮らしやすさを実感しています。これからもあわら市で家族そろって子育てや新しい暮らしを楽しみたい」と楽しそうに話してくれました。



[移住年]…2020年 | FROM 坂井市 ▶ TO あわら市 | 佐藤 雄大さん Sato Yudai
[家族構成]…本人、妻、子ども

若者結婚支援制度

結婚新生活支援事業補助金

結婚して市内で居住する39歳以下の新婚世帯に対し、新生活にかかる費用を支援します。

補助対象経費	所得	補助金額
住宅取得費 住宅リフォーム費 住宅賃借費 引越費	夫婦共に29歳以下 合計所得が500万円未満の夫婦	上限 60万円 /世帯
	上記以外で、合計所得が500万円未満の夫婦	上限 30万円 /世帯



U25夫婦支援金

結婚して市内で居住する39歳以下の新婚世帯のうち、夫婦の少なくとも一方が25歳以下の若い世代に対し、結婚に伴う新生活のスタートアップにかかる経済的負担を軽減し、希望する時期の結婚・出産の実現を後押しします。

所得	支援金額
合計所得が500万円未満の夫婦	10万円 /世帯



空き家活用支援

家を売りたい人と住みたい人を繋ぐ空き家活用を支援しています。

優しくあたたかい人達との
出会いが移住の決め手。

愛知県で会社員をしながら暮らしていた森島さんは、夫婦で腰を落ち着けて取り組める仕事をしたいと考えた時に農業の魅力を感じ、地方への移住を決めました。数ある移住の候補地の中から、住まい探しの際に地域の方が本当に親切で優しくあたたかく接してくれたあわら市で暮らすことを決めました。

また、「ふくい園芸カレッジ」で農業を学びながら暮らすため、近くの古民家に住みたいと思うように。そこで市に相談したところ「空き家情報バンク」に掲載されている物件を紹介され、入居しました。

「実際に移住して、改めて自然の豊かさを実感。自動車は不可欠ですが、高速道路のインターチェンジも近く、車で少し走れば何かしらのお店もあるのでそれほど不便ではありません」と暮らしやすさを語ってくれました。



【移住年】…2020年
【家族構成】…本人、妻 FROM 愛知県 ▶ TO あわら市 | 森島 浩平さん Morishima Kohei

新築・リフォーム支援

家族が安心して暮らせる住まいづくりを支援しています。

家族をはじめ人とのつながりを
身近に感じます。

宮城県で働いていた川崎さんは、父親が亡くなったことや東日本大震災で被災した経験から「何かあった時に家族のすぐそばにいられたら」と考えるようになり、2019年に35年間暮らしていた宮城県からあわら市内の実家へ戻り、母親と同居することを決意。実家の離れをリフォームするにあたり工務店の人と話していたところ、市の支援制度「多世帯同居リフォーム支援事業補助金」を覚えてもらい、補助を受けたそうです。

「久しぶりにあわら市で過ごして、その魅力を再発見。交通面はまだ不便だけど、温泉などの観光スポットが身近にあるし、自然豊かでまちの人も優しく、治安が良いなど暮らしやすさを実感しています。今後はあわらを拠点に、全国を行き来しながら趣味などを楽しみたい」と話してくれました。



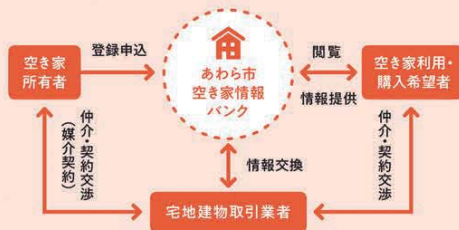
【移住年】…2019年
【家族構成】…本人、妻、母 FROM 宮城県 ▶ TO あわら市 | 川崎 弘幸さん Kawasaki Hiroyuki

空き家活用支援制度

あわら市空き家情報バンク

あわら市では、空き家を有効活用し、移住や定住促進を図るために、空き家情報バンク制度を設けています。

住居を購入したい方や「売りたい、貸したい空き家がある」という方は、ぜひご利用ください。



空き家取得等支援補助金

「あわら市空き家情報バンク」に掲載されている物件を住居として購入・リフォームする場合に必要な費用を補助します。取得支援、リフォーム支援ともに、補助対象経費の1/3以内かつ下の表の金額が上限となります。

補助金額	移住者(県外)・子育て世帯・新築世帯・進出企業の従業員等	左記以外の場合
	取得支援 上限100万円	上限50万円
	リフォーム支援 上限100万円	上限50万円

※安心R住宅(取得)の人は、上限120万円

※空き家を購入する方は、取得支援とリフォーム支援の併用が可能

最大200万円



新築・リフォーム支援制度

多世帯同居リフォーム
支援事業補助金

多世帯で同居するためのリフォーム工事にかかる費用を支援します。

補助対象経費

- ・間取りの変更工事費
- ・増築工事費
- ・バリアフリー改修工事費
- ・設備の改修工事費
- ・浄化槽の入れ替え工事費

補助金額 対象経費の2分の1 (上限60万円)



多世帯同居・近居促進事業補助金

多世帯で同居・近居するための住宅取得に対して支援します。

補助対象者

多世帯同居の場合	新たに多世帯同居するために、新築住宅を建設または購入する方 ・別居していた直系親族の世帯が同居すること。 (直系単属の単独世帯は数に含みません) ・同居する直前に3年以上別居していたこと。
多世帯近居の場合	市内に居住する親または祖父母等と近居するために、新築住宅を建設または購入する下記の世帯 ・若者世帯(世帯全員が45歳未満の世帯) ・子育て世帯(高校3年生以下の子どもがいる世帯)

補助金額 上限100万円
※市内業者施行30万円 基本額70万円



創業支援

あわら市では創業を希望する人への支援を強化しています。

あわら市の手厚いサポートで、
夢だった餃子店を開業。

小刀禰さんは父が料理店をやっていた影響で、自分も餃子店を開くことが夢だったそう。その夢を叶えるために市の商工会に相談し、あわら湯のまち駅前の「屋台村」で餃子店「楊々餃子(やんやんぎょうざ)」を出店しました。商工会や屋台村の方のサポートを受け人気店に。

その後、独立のため市の創業支援制度「スモール・ビジネス支援事業補助金」に応募して採択され、実店舗を開きました。

あわら市での開業を決めた理由は、「屋台村などビジネスを始めやすい環境があること」と、「人がみんな優しいこと」。市の職員の方はもちろん、お店に来てくれるお客さんもとってもフレンドリー。屋台村で営業していたころからの常連さんをはじめ、多くの人に愛されています。



[移住年]…2013年 | [家族構成]…本人・夫 | FROM 坂井市 ▶ TO あわら市 | 小刀禰 静波さん Kotone Seiha

就農支援

あわら市は農業を志す人を支援する土壌が揃っています。

ゼロから始める農業にも
楽しく挑戦。

移住前は自動車関連会社の技術職として活躍していた山崎さんは、「自分が作ったモノを直接人に届けたい」という思いから農業を志すように。そこで「ふくい園芸カレッジ」への入校を決め、あわら市内で就農するために移住しました。

ふくい園芸カレッジでは、肥料や農業などについての基礎的な講義からトラクターの運転などの実地研修まで、きめ細やかなサポートをしてくれます。知識が無くても学べる場所や土地、住まい探しまでサポートしてくれるあわら市は農業に挑戦しやすい環境が整っているの、農業をやりたい人はぜひ一度足を運んでほしいと話しています。

先輩農家やふくい園芸カレッジの同期とのコミュニケーションもあり、そのつながりがモチベーションになっているそう。現在は、ふくい園芸カレッジを卒業し、「あわらをブドウの産地にする」という大きな夢に向かってまい進中です。



[移住年]…2020年 | [家族構成]…本人・妻 | FROM 愛知県 ▶ TO あわら市 | 山崎 佑介さん Yamazaki Yusuke

創業支援制度

創業支援のことは、あわら市
商工会にご相談ください！

創業をお考えの方は、まずご相談ください

あわら市商工会 創業支援ワンストップ窓口
あわら市市姫1-9-21 ☎ 0776-73-0248

創業支援や補助金について詳しくはこちら



スモール・ビジネス支援事業補助金

あわら市で創業する方に対して、創業時に必要な経費の一部を支援します。

補助金額	空き家や空き店舗を活用する場合	左記以外で創業する場合
	対象経費の2分の1(上限150万円)	対象経費の2分の1(上限100万円)

食品加工施設等整備
支援事業補助金

地域の食材等を活かした新商品開発を行い、あわら市の特産品としてブランド化を進める方に、その費用の一部を補助します。

補助金額	対象経費の3分の1以内(上限500万円)
	(補助対象経費の額が3,000万円を超える場合は上限1,000万円)

商業エリア空き店舗・空き家改修事業補助金

北陸新幹線芦原温泉駅開業に向け、JR芦原温泉駅前や芦原温泉街の商業エリアの活性化を図るため、店舗兼住宅の空き店舗や空き家等を、店舗として活用しやすくなるための改修費の一部を補助します。

補助金額	空き家、空き店舗兼住宅を活用する場合	空き店舗を活用する場合
	対象経費の2分の1(上限500万円)	対象経費の2分の1(上限250万円)

窓口紹介 予算の範囲内での交付となりますので、申請の際には事前に下記連絡先にお問い合わせください。

商工労働課 ☎ 0776-73-8030

*上記はいずれも令和4年度の内容です。変更となることもあります。

就農支援制度

ふくい園芸カレッジ

あわら市井江藪50-8
☎ 0776-78-7873

福井県が運営する研修施設。園芸分野での農業、独立就農を支援しています。農地を確保し独立を目指す「新規就農コース」、すでに農業をはじめている方には直売所向け品目の栽培および販売方法を学ぶ「地産地消コース」、大規模経営を目指す「スマート園芸コース」の3コースがあり、目的に合わせて実践的に農業を学べます。



丘陵地農業支援センター

あわら市二面1-10 ☎ 0776-78-6364

坂井北部丘陵地での農業を支援しています。就農のイロハや農地の紹介などの情報も満載。

福井県立大学 創造農学科

あわら市二面88-1 ☎ 0776-77-1443

2020年に県立大学に新設された学科。あわらキャンパスで農業について学びます。優れた次世代の人材を育成しています。

新規就農者をサポートする事業も！

新規就農者支援事業
(小農具等整備奨励金)

非農家出身の新規就農者が経営を開始する際に必要な小農具などの整備について2分の1以内(上限額50万円)の奨励金を交付します。



窓口紹介 予算の範囲内での交付となりますので、申請の際には事前に下記連絡先にお問い合わせください。

農林水産課 生産振興グループ ☎ 0776-73-8025

*上記はいずれも令和4年度の内容です。変更となることもあります。

子育て支援

安心して子育てできる環境がそろっています。

移住者として、県外出身の育児世代をサポート。

結婚を機に2014年に愛知県から福井市へ移住した野尻さん。子育てのことを考えて2019年に旦那さんの実家があるあわら市へ移住しました。

移住してすぐは家族以外に知り合いがおらず、周りに遠慮してしまっていたそうですが、その中で「いつか福井の生活に慣れて人と人をつなが場をつくれたら」と考えるように。その後、自分と同じ思いをもつ県外出身の仲間と出会い、「福井に住む県外女子チームZUK」を立ち上げました。そのほかにも、育児コミュニティ「Cheers」などで多くの子育てをする人を率先してサポートしています。

「あわら市は子どもの数は多くありませんが、その分子ども同士の絆がより深まりやすく、「トリムパークかなづ」などのおでかけスポットも多いので、子育て世代にオススメしたいまちです」と語ってくれました。



[移住年]…2019年

[家族構成]…本人・夫・子ども2人

FROM 愛知県 ▶ TO あわら市 野尻 知子さん Nojiri Tomoko

福井に住む県外女子チームZUK

移住した女性の悩みを共有し、楽しい福井ライフが送れるようサポートするため、野尻さんをはじめとした移住した女性を中心に2019年に設立しました。交流会などのイベントを積極的に開催し、参加者同士が繋がる場づくりを心がけています。今後は、県外の人と交えて交流することが目標です。



Cheers

野尻さんが中心となって作られた育児コミュニティで、あわら市外のメンバーもたくさん参加しています。季節イベントなどを開催したり、メンバーママ主催の産後トレーニングに参加するなど交流を深めています。



子育て支援制度

あわらっこファーストバースデーお祝金

令和5年4月1日以降に満1歳の誕生日を迎えるお子さん1人につき3万円

1人につき
3万円



詳しくは、こちらのコードを読み取ってください。

病児・病後児保育

病気療養中の児童(病児)や回復期の児童(病後児)を指定の医療機関等で預かります。利用料は半日1,000円、1日2,000円です。

子どもの医療費高校生まで無料

高校生生までの子どもを対象に、保険診療による医療費を助成します。県内の医療機関を受診する場合、窓口負担はありません。県外での受診分は手続き後、払い戻します。

認定こども園

市内に12ヵ所ある認定こども園では、それぞれ特徴ある保育や教育を行っています。3~5歳児の園料、第3子以降の園料、副食費は無料です。地区の小学校とも連携し、交流を行うことでスムーズに小学校へ入学できる体制を整えています。

申請の際には事前下記連絡先にお問い合わせください。

子育て支援課 ☎ 0776-73-8021

※上記はいずれも令和4年度の内容です。変更となることもあります。

あわら市の「子育て支援センター」がすごい！



子育てを応援！気軽に安心して利用できる施設。

子育てが気軽に集い、仲間を見つけられる「子育て支援センター」は子どもが自由に遊べる部屋や相談室などがある子育ての支援拠点です。イベントの開催や子どもを遊ばせるのはもちろん、保護者同士で子育ての情報を共有したり、悩み相談をしたりなど交流の場としても利用できます。お誕生会やベビーマッサージなどのイベントのほか、親子ヨガなどの教室も開催しています。さらに授乳室やおむつ交換室もあり、開所時間内であれば自由に入出入りできるのも嬉しいポイント。電話での育児相談も受け付けています。

妊娠から子育てまでを支援

子育て支援センター	あわら市国影13-13(芦原こども園2階) ☎ 0776-77-1163
開所日	月～金曜 9:00～16:30 (祝日・年末年始を除く) 土曜開放(偶数月の第一土曜日) 9:00～12:00
子育て世代包括支援センター こあらっこ	あわら市国影13-13(保健センター内) ☎ 0776-73-8010
開所日	月～金曜 8:30～17:15 (祝日・年末年始を除く)

子育ておすすめスポット

大人も子どもも楽しめる公園や施設を紹介します。



北湯湖畔公園

家族でサイクリングが楽しめます。子ども用の自転車レンタルもあり、自転車の練習にもピッタリ。足漕ぎボートもあります。



トリムパークかなづ

大型遊具など、たくさんの遊具があり子どもが思い切り遊べます。公園内には森もあり、網と虫ごを携帯して虫とりをするのもオススメです。



あそぼっさ

休校中の小学校を活用した全天候型施設です！広い体育館や教室に遊具やスポーツ用具を配置しているので、ご家族でお楽しみください！



新郷小学校

休校中の小学校を活用したキッズスペース&コミュニティスペース。持ち込みでの飲食もOK。

比べてみよう

福井と東京のライフプラン

家計の収支をシミュレーション

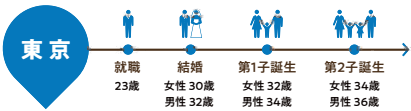


福井と東京、一般的なライフスタイルでのお金のゆとりや暮らしやすさを比べてみよう！



- 60歳まで夫婦が共にフルタイムで働く。第1子誕生から第2子が1歳になるまで育児取得し、仕事を継続。公立の小・中・高を経て大学まで進学。
- 妻35歳、夫37歳でマイホームを購入。敷地面積200㎡、住宅延床面積170㎡、4,200万円の新築一戸建。夫60歳までローン返済。(ローン金利含む住宅購入費:5,300万円)

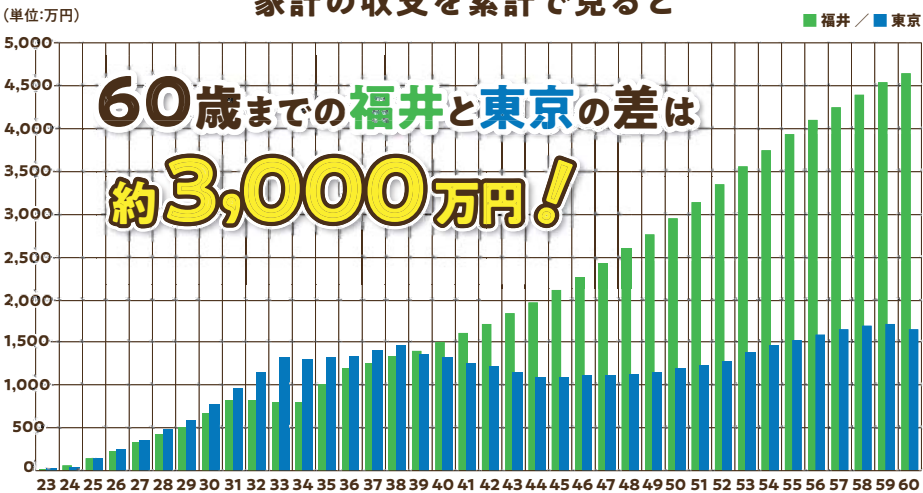
世帯主年齢	23~29歳	30~49歳	50~60歳	計
ライフステージ	結婚前	結婚・子育て	大学進学・独立	
収入	2,510万円	18,910万円	13,110万円	34,530万円
支出	2,010万円	16,640万円	11,240万円	29,890万円
収支差	500万円	2,270万円	1,870万円	4,640万円



- 夫婦共働きであったが、保育所に空きがなく、第1子出産を機に仕事を辞める。第2子が1歳になり仕事に復帰しパートタイムで働く。公立の小・中・高を経て大学まで進学。
- 妻37歳、夫39歳でマイホームを購入。敷地面積100㎡、住宅延床面積100㎡、6,300万円の新築一戸建。夫60歳までローン返済。(ローン金利含む住宅購入費:7,800万円)

世帯主年齢	23~29歳	30~49歳	50~60歳	計
ライフステージ	結婚前	結婚・子育て	大学進学・独立	
収入	2,940万円	18,790万円	13,420万円	35,150万円
支出	2,350万円	18,230万円	12,920万円	33,500万円
収支差	590万円	560万円	500万円	1,650万円

家計の収支を累計で見ると



※ 出典: 福井県「ふくい暮らしライフデザイン設計書(経済産業省「生活コストの「見える化」システム)を利用し、(株)価値総合研究所が試算) 世帯主年齢(単位:歳)

DATA でみる「しごと」「子育て」「住まい」

福井

- 共働き率は全国トップクラス。女性が仕事と子育てを両立しやすい。

60% (全国1位)

81% (全国2位)

- 若者の正規社員の割合が高く、仕事も多く就職しやすい。

74% (全国2位)

26分

福井

- 保育施設の待機児童ゼロ。3人目以降の子どもは保育料無料となる3人っ子応援政策などにより、出生率も高い。
- 自宅近くの保育施設を利用し、子どもの送り迎えも便利。子どもは広々とした保育施設や屋外でのびのび遊べる。

1.56倍 (全国11位)

- 公教育が充実。学校の宿題をしっかりとやって、塾に行く子は少ない。
- 学力は全国トップクラス。学校内での日常活動で体力づくり。

全国3位 / 全国1位

※データ出典: 日本総合研究所編集「全47都道府県幸福度ランキング2020年版」による「学力」「子どもの運動能力」指標

公立中・高校に行く 283万円

福井

- マイホームを手に入れやすく、家族みんなにゆとりの広さ。

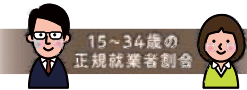
137㎡ (全国2位)

75% (全国3位)

しごと

共働き世帯割合

育児をしている女性の有業率



平均通勤時間(片道)

子育て



合計特殊出生率



公立小中学生の学力/体力

中学校・高校の平均教育費

住まい

住宅の広さ
(1住宅当たり延べ床面積)

持ち家率

東京

- 女性が出産・育児のために退職し、キャリアが中断しやすい。

49% (全国33位)

61% (全国40位)

※データ出典: 総務省「H29就業構造基本調査」

- 会社の求人が多い一方で、仕事を求める人も多い。

69% (全国26位)

※データ出典: 総務省「H29就業構造基本調査」

42分

※データ出典: 総務省「H28社会生活基本調査」

東京

- 待機児童が多いため、希望どおりの保育施設入所は難しい。認可外保育施設を利用したり、入所できる場所に引越すこともあり。
- 駅近くの保育施設は園庭も狭くて外遊びも限定。

1.15倍 (全国47位)

※データ出典: 厚生労働省「R1人口動態統計」

- 学校の授業だけでは進学が不安、小学校から塾通いの子が多い。
- 私立の中学・高校に通い、大学進学を目指すことが多く、教育費が高くなりがち。

私立中・高校に行く 712万円

※データ出典: 文部科学省「H30子供の学習費調査」

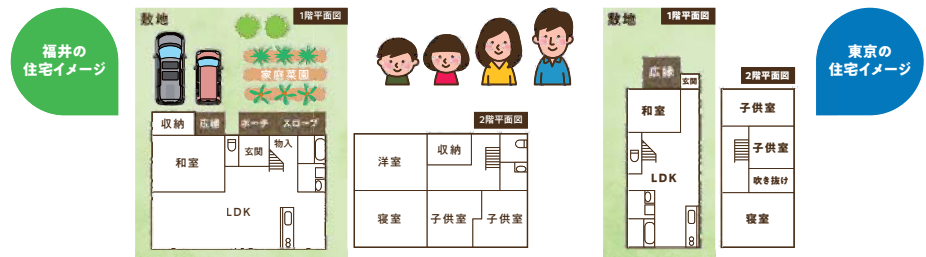
東京

- 持ち家率は低く、念願のマイホームから会社へは遠い距離。

65㎡ (全国47位)

45% (全国46位)

※データ出典: 総務省「H30住宅・土地統計調査」



ACCESS INFORMATION

2024年春 北陸新幹線開業

JR芦原温泉駅も停車駅として新たに生まれ変わり、東京まで乗り換えなしで行き来できるようになります！

あわら市



主要都市からのアクセス



飛行機の場合

- 東京から(小松空港から小松駅までの路線バス利用)
羽田→小松→芦原温泉駅・・・約1時間30分



車の場合 (高速道路使用・金沢ICまで)

- 名古屋方面から
約180km / 約2時間10分
- 大阪方面から
約240km / 約3時間
- 金沢方面から
約58km / 約50分



電車の場合

- 東京から
北陸新幹線・特急(金沢経由)・・・約3時間20分
東海道新幹線・特急(米原経由)・・・約3時間45分
- 名古屋から
東海道新幹線・特急(米原経由)・・・約1時間45分
- 大阪から
特急・・・約2時間10分
- 金沢から
特急・・・約35分
普通・・・約1時間

移住に関するお問合せは下記まで

あわら市役所 創造戦略部 市民協働課

〒919-0692 福井県あわら市市姫三丁目1番1号

TEL:0776-73-8003(直通) E-mail:ijyu@city.awara.lg.jp

